

様式 1

(記入例)

令和4年度 地産地消コーディネーター派遣事業 応募用紙  
(施設給食における地場産物の利用拡大)

記入日：令和 4 年 7 月 16 日

I 応募者について

|            |  |
|------------|--|
| 組織名        | 〇〇町地産地消推進協議会   |
| 代表者名       | (部署名・役職等) 会長<br>ふりがな (氏名) ●● ●● (ふりがな)   |
| 主担当者       | (部署名・役職等) 〇〇町農政課 係長<br>ふりがな (氏名) ●● ●● (ふりがな)  |
| 副担当者       | (部署名・役職等) 〇〇町農政課長<br>ふりがな (氏名) ●● ●● (ふりがな)  |
| 住所         | 〒 123-4567<br>▲▲▲県■ ■ ■ ■町〇〇〇 1-2-3  |
| TEL        | 09●●-12-34●●   |
| FAX        | 09●●-56-78●●   |
| メールアドレス    | abc-defg@●●●.●●.jp   |
| 派遣先までの交通経路 | ※主要駅(又は空港)や最寄り駅、バス停等から、派遣予定場所までの経路をご記入ください。<br>●●●給食センター<br>まちむら本線「機構」駅より、10番線「地産地消団地行き」バス乗車(●●交通)<br>「地場産物」バス停下車。徒歩2分 |

- ※ 連絡調整は、電話とメールを中心に行います。本件にかかる連絡調整の実務を担当される方の連絡先やメールアドレスを必ず明記してください。
- ※ 応募内容に関する参考資料があれば添付してください。
- ※ 交通経路は、公共交通機関での経路を記載してください。

※以下、様式の枠にとらわれず、具体的にご記入ください。

## Ⅱ 応募内容について

1 応募する主な理由について、該当するものに○印をつけてください。

| ○印欄 | 応募の主な理由  |
|-----|--|
|     | (1) 地場産物利用について、関係者の理解を深めたい。<br>(機運を高めたい、地場産物利用のきっかけを作りたい、など) |
| ○   | (2) 現状の課題を整理して、地場産物利用を増やしたい。                                 |
|     | (3) 具体的に解決したい課題がある。  |
|     | (4) その他<br>(具体的に：_____)                                      |

2 応募者の地場産物利用についての現状と課題、この事業で目標としたい内容等を以下にご記入ください。

### (1) 地場産物利用の現状と課題

- ・ 当町は、中山間地域にあり、生産者の高齢化が進み、食材納入の担い手がない状況にある。
- ・ 当町は、都市部に位置し、専業農家も少なく、安定的な調達できていない。
- ・ 当町の学校給食は、食数が3,000食の統一献立のため、地場産物での必要量の確保が難しい。
- ・ 食材の規格や品質が不揃いで調理に手間がかかるなど、地場産物利用に前向きではない。
- ・ 地域に地場産物がない。必要量が集まらない。地場産物が高くて使えない。
- ・ 給食用に作付した農産物が大量に採れたのに、給食で使ってもらえない。
- ・ 地域で採れる農産物や海産物を給食に使用して貰いたいが、納入の仕組みがない。
- ・ 地元生産者と、栄養士や子ども達との交流の機会がない。
- ・ 現状の地場産物利用は、担当者や生産者の意欲に依ることが多く、地域全体の仕組みではない。
- ・ 具体的に給食の納入を進めたいが何をすればよいかわからない。 等

### (2) 本事業での目標としたい内容

- ・ 目標の地場産物利用率に近づけたい。
- ・ 給食で使用できる地場産物の規格を拡げ、供給量を拡大したい。
- ・ 行政、JA、加工施設、給食センター等関係者の定期的会合の実現。
- ・ 納入ルートの見直し。
- ・ 使用できる地場産食材の増加（品目、量、使用時期の延長）。
- ・ 給食に使用できる地場産食材（加工品等）の掘り起こし、給食での実際の提供。
- ・ 地場産物利用を意識した調理や献立への指導。
- ・ 学校給食のコーディネーター組織や専任コーディネーターを設置したい。
- ・ 課題整理と具体的な指導（野菜の下処理、洗浄方法、献立など）による課題解決。 等

3 下記の内容について、「はい」に該当するものに○印を記入してお答えください。

| ○印欄 | 項目   |
|-----|--|
| ○   | (1) 食における地場産物利用の状況が分かるデータや資料がある。<br>(年間での地場産物の使用品目と使用量、月ごとの地場産物の納入状況等)         |
| ○   | (2) 地域の地場産物の生産状況（作付等の種類・収穫の時期・収穫量等）がわかるデータがある。（出荷カレンダー、作付状況の把握等）               |
| ○   | (3) 地産地消や地場産物利用を進める協議会や組織等がある。   |
| ○   | (4) 給食における地場産物利用を進める会合や打合せ等がある。<br>※「ある」の場合、開催頻度をご記入ください。（ <u>学期ごとに年3</u> ）回程度 |
|     | (5) 地場産物の供給体制について  |
|     | ① 市町村全体を網羅する地場産物の供給組織や供給体制等がある。  |
| ○   | ② 調理場ごとに、地場産物を供給する組織や生産者がいる。   |
|     | ③ 地場産物の供給は、主に一般の企業や商店等が担っている。  |
|     | ④ 上記①～③に当てはまらない場合は、以下にご記入ください<br>( _____ )                                     |
|     | (6) 行政以外からの応募者にお伺いします。<br>地場産物利用について、これまで行政との連携がありますか？                         |

4 その他、応募内容について補足する点がございましたら、ご記入ください。

- ・当町は、昔から伝統野菜等が栽培されており、食への関心が高い。
- ・給食への納入意欲のある生産者もいるし、調理場も使いたいという気持ちはある。
- ・町では、町民の健康や持続可能な地域づくりの1つに、地産地消の推進を掲げている。
- ・当町は、令和7年度に新しい学校給食センターの稼働を目指している。
- ・当町では、環境保全型農業を推進している。 等

### Ⅲ 希望する時期・内容・コーディネーター等について

※各回の希望内容を具体的にご記入ください。

※コーディネーターについて、特に指名が無い場合は、希望する専門分野をご記入ください。

#### (第1回目)

|                      |   |
|----------------------|---|
| 派遣希望時期               | 令和4年10月   |
| 希望する具体的な指導内容         | ①地域の推進会議への参加、助言<br>②給食関係者への個別ヒアリングによる課題整理 等                     |
| 指導対象者                | 生産者、給食関係者、JA、加工業者、商工関係者、行政 等                                    |
| 派遣希望のコーディネーター、又は専門分野 | ・給食センターにおける地場産利用の学校給食に詳しい方<br>・学校給食用農産物(野菜)の生産振興に詳しい方<br>・〇〇〇〇氏 |

#### (第2回目)

|                      |  |
|----------------------|--|
| 派遣希望時期               | 令和4年12月  |
| 希望する具体的な指導内容         | ①給食調理場での指導(下処理)、献立作成助言<br>②給食で使用できる地場産物の掘り起し 等 |
| 指導対象者                | 生産者、給食関係者、JA、加工業者、商工関係者、行政 等                   |
| 派遣希望のコーディネーター、又は専門分野 | ・地場産利用の給食に詳しい方<br>・地場産物献立作成の実践者<br>・〇〇〇〇氏 等    |

#### (第3回目)

|                      |   |
|----------------------|---|
| 派遣希望時期               | 令和5年1月  |
| 希望する具体的な指導内容         | ①地場産物を利用したメニュー開発・提供<br>②地場産物メニュー提供の成果まとめ 等            |
| 指導対象者                | 生産者、給食関係者、JA、加工業者、商工関係者、行政 等                          |
| 派遣希望のコーディネーター、又は専門分野 | ・地場産利用の給食に詳しい方<br>・学校給食用農産物(野菜)の生産振興に詳しい方<br>・〇〇〇〇氏 等 |

## IV 派遣に関わる給食施設について

取組状況、使用品目・量(都道府県内産及び市町村内産)等、様式の枠にとらわれず具体的にご記入ください。

|   |                               |
|---|-------------------------------|
| <b>① 給食提供事業者名・給食提供地</b>   |                               |
| (事業者・提供施設名)<br>〇〇町学校給食センター  |                               |
| (事業者・提供施設の概要) ※提供箇所、運営方法、年間稼働日数など<br>令和元年度に、町内 5 つの調理場が合併して、新しい学校給食センターとして稼働。現在、小学校 3 校、中学校 2 校、保育園 3 園に提供している。年間稼働日数は約 240 日で、調理・配送・洗浄については、民間委託で運営している。   |                               |
| <b>② 一日の提供食数(食)</b><br>※一日に複数回の提供がある場合は、それがわかるようにご記入ください。   | 約 3,000 食                     |
| <b>③ 一食あたりの食材費(円)</b><br>※一日に複数回の提供がある場合は、それがわかるようにご記入ください。   | 小学校 270 円、中学校 320 円、保育園 200 円 |
| <b>④ 地場産物としている範囲</b> ※該当するものに〇印をつけてください。  |                               |
| 同一市町村内産 ・ <u>同一地区内産</u> ・ 同一都道府県内産 ・ その他  |                               |
| <b>⑤ 現在の地場産物の使用頻度</b> ※該当するものに〇印をつけてください。   |                               |
| ほぼ毎日 ・ <u>週に 1～2 日</u> ・ 月に数回 ・ 季節ごとに数回 その他   |                               |
| <b>⑥ 現在使用している地場産物の主な品目</b> ※最大 10 品目程度ご記入ください。  |                               |
| じゃがいも、たまねぎ、人参、キャベツ、白菜、小松菜、青梗菜、長ねぎ、大根、里芋、手作り味噌、梨のジャム 等   |                               |
| <b>⑦ 使用食材全体での地場産物の割合</b> (調査が無い場合には、記入は不要です。)<br>※集計のベースや算出方法も記載してください。<br>※学校給食の場合、「学校給食における地場産物・国産食材の使用状況調査」での地場産物・国産食材の使用率についてもご記入ください。  |                               |
| (例) 令和 3 年度 年間使用量 (重量ベース) 県内産 40% うち町内産 20%   |                               |
| 令和 3 年度の町内産年間使用量 (主要 15 品目・重量ベース) 40%   |                               |
| 学校給食における地場産物・国産食材の使用状況調査 (金額ベース) 50%  |                               |
| <b>⑧ 現在、地場産物の利用拡大に向けて進めている取組があればご記入ください。</b>  |                               |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生産者、JA、給食センター、納入業者、行政の連絡調整会議を開催</li> <li>・ J A 等による給食用新規品目の栽培技術指導を実施</li> <li>・ 学校給食に向けた加工品の開発検討(野菜の一次加工、味噌・漬物づくり)</li> <li>・ 地場産物を使った献立コンテストと入選作の給食提供を実施</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p> |                               |